

平成16年度環境ホルモン調査結果について

平成17年6月3日
島根県環境生活部環境政策課

島根県では、平成14年度から、魚類に対する内分泌攪乱作用が確認されている化学物質（いわゆる環境ホルモン）である、「ノニルフェノール」と「4-t オクチルフェノール」について、県内の水環境中の濃度実態調査を実施しています。

平成16年度は下記のとおり10地点で調査を行いましたが、2物質とも、予測無影響濃度を超える地点はありませんでした。

1. 調査内容

- | | |
|----------|---------------------------------------|
| (1) 調査物質 | ノニルフェノール、4-t オクチルフェノール |
| (2) 調査地点 | 河川7地点、湖沼3地点 |
| (3) 調査媒体 | 水質 |
| (4) 試料採取 | 平成16年12月1日 |
| (5) 調査方法 | 「外因性内分泌攪乱化学物質調査暫定マニュアル（平成10年10月 環境庁）」 |

2. 調査結果

下表のとおり、ノニルフェノール、4-t オクチルフェノールとも、すべての地点で不検出（検出限界値未満）でした。

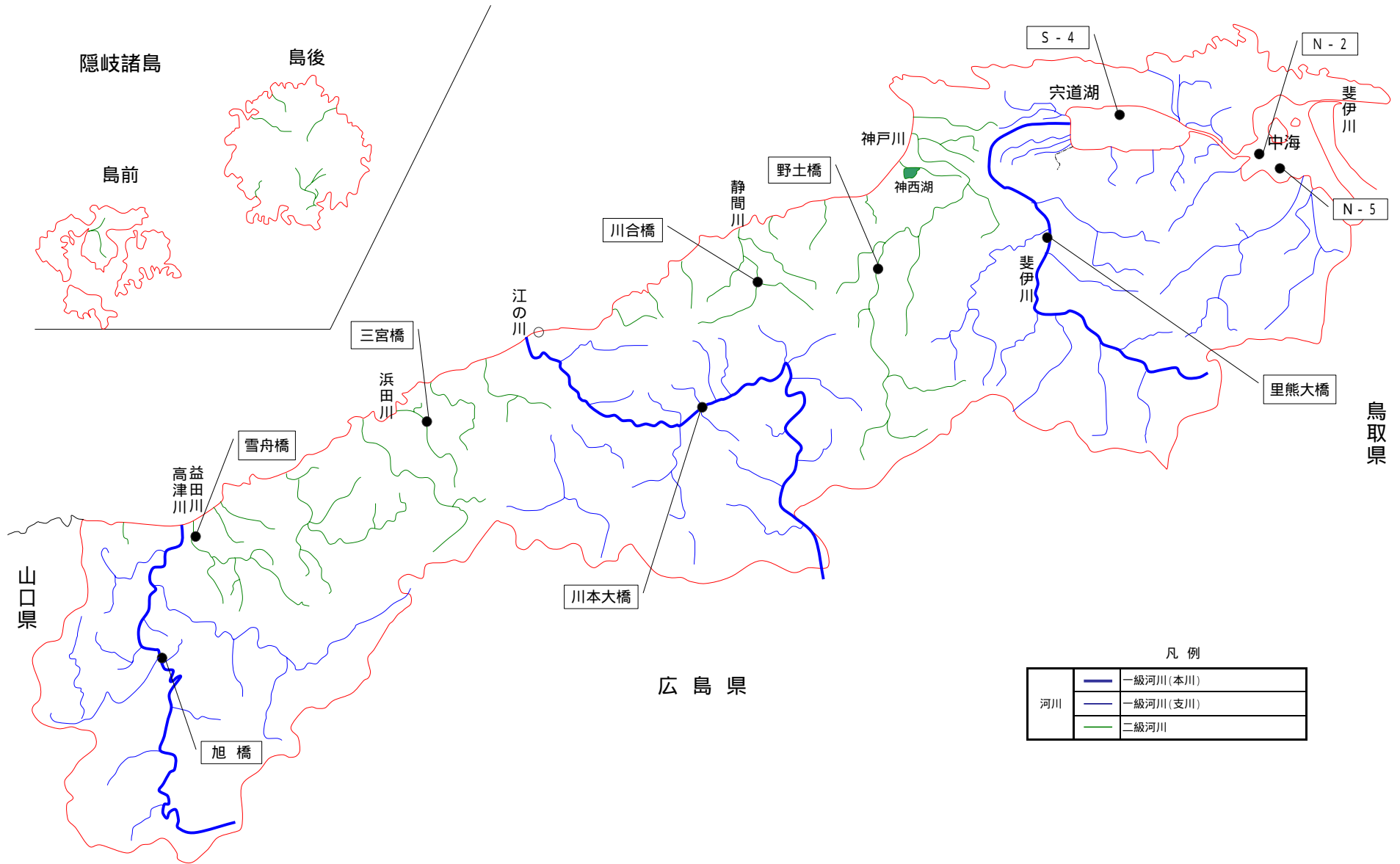
表 平成16年度内分泌攪乱化学物質濃度実態調査結果

採水地点	採水年月日	測定結果	
		ノニルフェノール	4-t-オクチルフェノール
斐伊川（里熊大橋）	2004.12.01	不検出	不検出
神戸川（野土橋）	2004.12.01	不検出	不検出
江の川（川本大橋）	2004.12.01	不検出	不検出
静岡川（川合橋）	2004.12.01	不検出	不検出
浜田川（三宮橋）	2004.12.01	不検出	不検出
高津川（旭橋）	2004.12.01	不検出	不検出
益田川（雪舟橋）	2004.12.01	不検出	不検出
穴道湖（S - 4）	2004.12.01	不検出	不検出
中海（N - 2）	2004.12.01	不検出	不検出
中海（N - 5）	2004.12.01	不検出	不検出
予測無影響濃度(μg / L)		0.608	0.992
検出限界値(μg / L)		0.3	0.03

予測無影響濃度：有害性評価のための動物実験において、メダカの性分化に影響を与えなかった最大濃度を「最大無作用濃度」とし、この濃度に安全係数 (1/10) を乗じることによって求めた値で、魚類を中心とする生態系に影響を及ぼす可能性がないと予測される濃度。

測定地点は別図のとおり。

平成16年度 内分泌攪乱化学物質実態調査 調査地点



凡例

河川	—	一級河川(本川)
	—	一級河川(支川)
	—	二級河川